

月刊 サンエスウォッキング

Vol.76

未発表特集

【ナローフレアハンドル】

今やひとつのカテゴリーとなりつつあるナローサイズのフレアハンドル。2023年から特に要望が増え始めたことにより、アルミでのDixnaブランドで設計を進めました。UCIの最狭規則に準ずるレバー部分の外幅を350mm(芯-芯で約330mm)としてフレア角・リーチ・ドロップ・ショルダー角はレースシーンでの巡航及びスプリントでの使用を想定しています。勿論FZ(フィットゾーン)機能を設定しており、少し広めのサイズも用意します。

※2025年初めの販売予定です。



▲トップはUCI最狭規則でフレアも程よい状態、レバー取り付け角度にも余裕があります



▲浅過ぎず深過ぎずのドロップにFZ機能を設定しサイドビューにも違和感はありません

▶まずはモックアップで検証し実際にレバーを取り付けポジションチェックを行います



【セブンピース S2 パームアーレンキー (名称未定)】

ハードライドの現場からの要望は…日本の奥深い里山でのMTBやグラベルライドで、コンパクトでありながら精度が高く、多くのサイズに対応する独立したサイズ群を持ち、それらを紛失することなく携帯することができる機能のあるアーレンキーが必要、というものでした。

コンパクトである点については、縦90mm以内、横50mm以内、幅は10mm程度。種類は、1.5mm/2mm/2.5mm/3mm、

そしてエンドがボールタイプの4mm/5mm/6mmの全7種類。

素材は、「S2(鋼鉄にバナジウムとシリコンを含む合金鋼の一種)」で、通常よく使用されている「CRV(クロムバナジウム鋼)」よりも高硬度で固く角が舐めにくく、トルクをかけても曲がりにくい性質を持っています。よく細い精密ドライバーに使用される材料で耐久性も高く、自転車の各部ハードパーツへの使用に向いています。

※2025年初めの販売予定です。

※S2素材のロングアーレンキーも開発中です。



▲非常にコンパクトに仕上げられておりセットにすると局部突起がありません



▲1.5mmを含むここ一番で助かる7種類のアーレンキーがセットになっています



▶90×50×10mmのコンパクトさを各所サイズを合わせてバランスしています



▲バランスがよく掌にスッポリ収まりポケットに入れても違和感がありません



【JFF #901 & SR SUNTOUR】

マルチモデルにグラベル系サスペンションフォーク「GVX32」を設定します。Vol.70でも掲載していますがJFF#901はランドナーからグラベル及びMTB系フラットハンドル&フォークなどの設定に対応するマルチパフォーマンスモデルです。このモデルに新たにSR SUNTOURのグラベルサスの選択が可能になります。アクションシーンから過酷なロングライドなど欧米仕込みの設計は冒険シーンを快適に誘うでしょう。



▲JFF#901に違和感なく装着されたGVX32



▲700×45C対応
(写真のフレームはLサイズです)
※最終仕様は写真と異なります。

※2025年初めの販売予定です。

● 次回、月刊サンエスウォッキング Vol.77は2024年11月8日(金)の配信予定です。